

2019  
▼  
2022



# 名寄市総合計画(第2次)

---

## 中期基本計画 2019▶2022

自然の恵みと財産を活かし  
みんなでつくり育む  
未来を拓く北の都市・名寄

## 名寄市章(平成 18 年3月 27 日制定)



名寄市の英頭文字「N」をモチーフとし、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展していく様子を表現しています。

## 市民憲章(平成 19 年2月 26 日制定)

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

自分のまちに誇りと責任をもち、

みんなで話し合いながら、

住みよいまちをつくります。

からだところの健康を大切に、

互いに温かい思いやりをもって、

安心して暮らせるまちをつくります。

豊かな自然を守り育て、

自然と調和した暮らしの環境をととのえ、

快適でうるおいのあるまちをつくります。

楽しく働き、創造力を発揮し、

豊かな暮らしを誇れる

活力に満ちたまちをつくります。

知性と感性をみがき、

こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、

希望に輝くまちをつくります。

## 都市宣言(平成 19 年3月 15 日制定)

### 安全・安心都市宣言

子どもや高齢者をはじめ、市民を巻き込む交通事故・犯罪・暴力・災害をなくすることは、私たちの願いです。

私たちは、「安全・安心のまち名寄」を合言葉として、市民一人ひとりが互いに協力し合い、明るく、住みよいまちを実現するため、ここに「安全・安心都市」を宣言します。

### 教育都市宣言

私たちは、北・北海道で唯一の公立大学を持つまちとして、幼児教育から大学教育までの連携のもと学校、家庭、地域が手をつなぎ合い、豊かな心と知性を育み、生涯にわたっていきいきと学ぶため、ここに「教育都市」を宣言します。

### 健康都市宣言

豊かな自然の中で、健康で明るい幸せが続くことは市民共通の願いです。

こころとからだの健康は、幸せと生きがいの源であり、市民一人ひとりがスポーツ、文化、自然に親しみ、さらなる健康づくりを推進するため、ここに「健康都市」を宣言します。

### 非核平和都市宣言

戦争のない世界平和と核兵器廃絶は、人類共通の願いであり、私たち市民は、世界唯一の被爆国の国民として、核保有国に対し、その廃絶と軍縮を訴えると共に、市民の生命と生活を守るため、非核三原則を守ることを強く求めます。

美しい郷土、恵まれた自然、豊かで平和な未来を子どもたちに手渡すことは、私たち市民の責務です。

名寄市は、恒久平和と幸せな市民生活を守るため、ここに「非核平和都市」を宣言します。

## 名寄市のシンボル 市の木・花・鳥



市の花/オオバナノエンレイソウ



市の木/シラカバ



市の鳥/アカゲラ

## 協働のまちづくり

旧風連町と旧名寄市が合併して誕生した名寄市は平成 27 年（2015 年）3 月に市制施行 10 周年を迎えました。平成 29 年度（2017 年度）に「名寄市総合計画（第 2 次）」を策定し、「人づくり」・「暮らしづくり」・「元気づくり」の三つを基本理念とし、「自然の恵みと財産を活かし みんなでつくり育む 未来を拓く北の都市・名寄」を将来像に掲げ、市民と行政が連携し、力を合せながら、まちづくりを進めてきたところでありますが、平成 30 年度（2018 年度）で前期計画期間が終了することに伴い、新たに中期基本計画を策定いたしました。

策定にあたっては、将来人口推計や RE S A S※データから見た名寄市の現状、アンケート調査の結果、各種関係団体との意見懇談会で出された意見などを分析したうえで、前期 2 カ年の計画を踏襲しつつ、人口減少・少子高齢化や情勢等の変化に伴う諸課題、新たなニーズへの対応を基本とし、全ての主要施策と、施策間連携により推進する「経済元気化プロジェクト」・「安心子育てプロジェクト」・「冬季スポーツ拠点化プロジェクト」の三つの重点プロジェクトに成果指標（K P I）を定め、目指す姿を明らかにするとともに、数値目標の検証による進捗管理を行うことが可能となる実効性のある計画づくりを行いました。

なお、厳しい財政状況の下にあって、複雑・多様化する市民ニーズや公共施設・土地利用のあり方、地方分権や地方創生の推進などに対応するためには、官民連携、施策間・地域間連携を一層強化するとともに、地域コミュニティの醸成により地域の自主性及び自立性を高めていく必要があります。

本計画の実現には、地域の特色を活かしたコンパクトシティ化を進めるとともに、まちに誇りや愛着を持ち、住み続けたいと思える持続可能なまちづくりに向け、市民と行政との協働はもとより、近隣・交流自治体や民間団体と連携を図り、庁内総合的・横断的に取り組みつつ、将来像の実現に向け、一步一步着実に市政運営を進めてまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、市民アンケート調査や各関係団体との意見懇談会などにおいて貴重なご意見・ご提言をいただいた市民の皆様をはじめ、熱心にご審議等いただきました総合計画審議会委員及び市議会議員の皆様、並びに策定にご尽力いただきました関係各位に対しまして心から感謝申し上げます。

平成 31 年（2019 年）3 月

名寄市長 加藤剛士

